



ガンギづくりの建物は木酢液塗装を施している



ミルクロードマラソン大会の会場にも



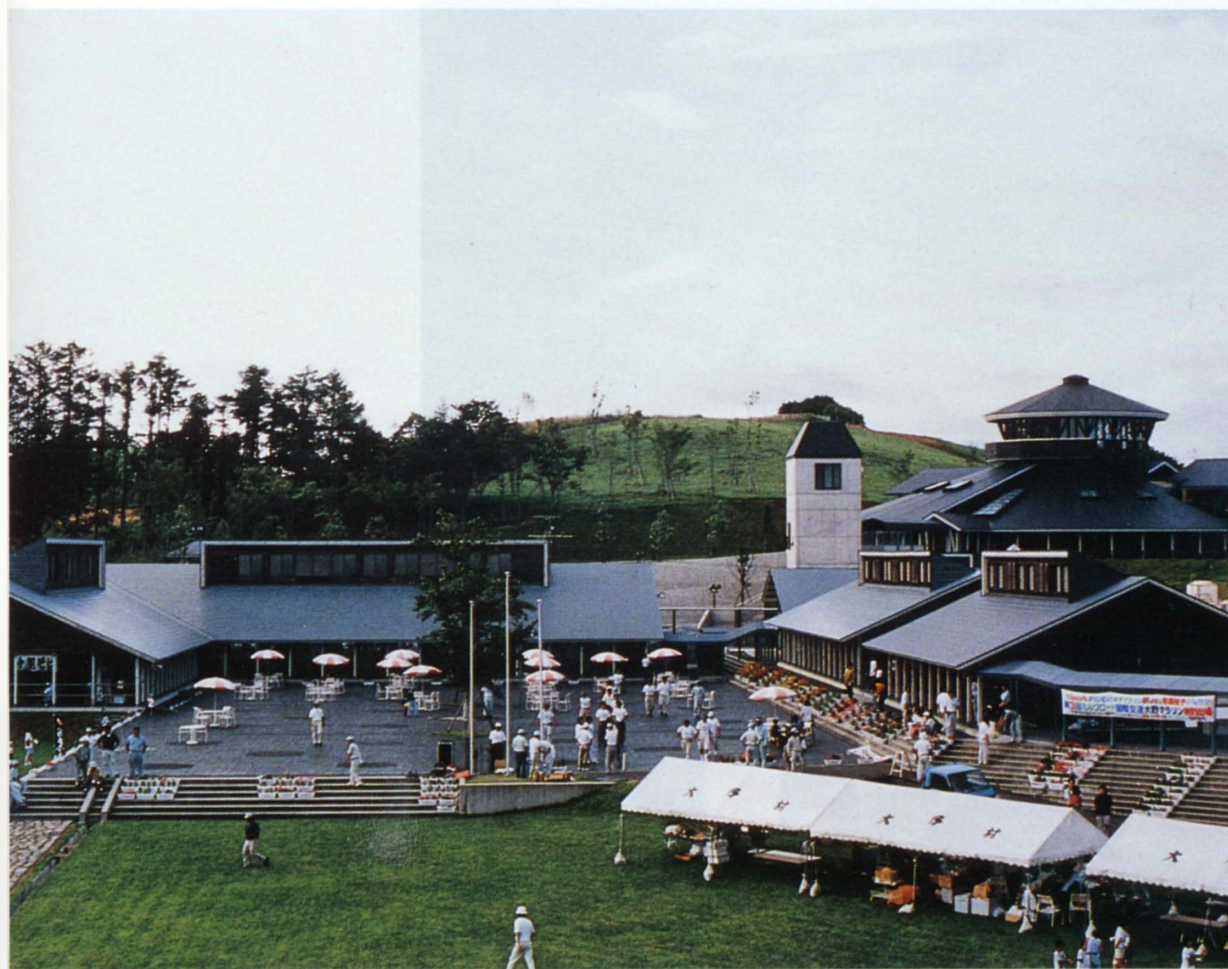
木工製作の体験教室

DATA・BOARD④

- ①岩手県九戸郡大野村大字大野58-12-30
- ②面積：産業デザインセンター1,522㎡，体験工房644㎡など
- ③J R東北本線二戸駅からバスで110分，J R八戸線久慈駅からバスで40分，八戸自動車道軽米ICから車で約25分
- ④ふるさと物産館，大野弥五郎館
- ⑤ミルクロード大野マラソン，大野村産業祭り，工芸テーマ展



4 大野村産業デザインセンター



大野村では、村民の生活を豊かなものとするため、一人一芸の村構想を策定し、地域資源を高度に活用する運動、生活工芸(モノづくりと暮らし)を展開している。

「大野村産業デザインセンター」は、地域の文化と産業を創造(デザイン)するだけでなく、村外地域の人々との交流を推進する施設となっている。

整備に際しては、単なる展示施設ではなく、生産・生活しながら動いている工房をイメージさせることに配慮している。建物は村内産の赤松を主材料に使い、極力色彩を抑えたものとし、木炭の副産物である木酢液を塗布して耐久性を高めている。また、雨天、降雪時に訪れる人に配慮して軒下を広く取り、通路(ガンギ)構造としている。

センターは、木工、陶芸、ガラス工芸などの体験学習の場として利用されているほか、村内で生産される木工品の販売、塗装仕上げ、新製品開発などの製作工房を支援しており、村内特産物、農産物の販売も行われている。

マラソン大会や産業祭りなどのイベント会場にも使用されているほか、国道沿いに大規模駐車場があるため、周辺の宿泊施設などと合わせて来訪者が多く、道の駅おのとしても親しまれている。